

## 2022年度 ひかり幼稚園学校関係者評価

総合評価	A
学校評価委員からのコメント（梶田歌子氏）	
<p>4年度自己評価及び保護者からの評価を参考に総合的に評価した結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ひかり幼稚園では新型コロナウイルス感染に配慮しながらも、年内行事を状況に応じて工夫され、出来るだけ子どもの成長を引き出す努力をされていることが伝わりました。</li></ul> <p>また、保護者も園との連携を密にしつつ園に対する協力と感心度の強さと、家庭保育での子育ての充実に努力されている事から、園と家庭との両輪でつねに子どもに配慮されている姿勢を感じました。</p>	
今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍において、行事等はなかなか進まなかったが、子供や保護者、教師の安全を確保しながら、各行事の見直しなど、積極的に行いたい。</li><li>・保護者への、子育て支援を更に充実できるようにしていきたい。</li></ul>	

**【3歳児保護者】**

・コロナ禍で、同年齢の子と触れ合う機会がないまま入園しましたが、友達との関わりでいろいろな話をしてくれて成長したと感じました。

・家では甘やかしてしまっているようなことでも、園ではきっちり指導していただけているおかげか、自立心が養われ、日々成長が感じられます。

・挨拶がしっかりできるようになり、文字にも興味をもって、読めるようになってきました。

・日々の子供の様子を見られる参観があればうれしいです。

**【4歳児保護者から】**

・家で、よくお手伝いをしてくれるようになりました。

・楽しんで幼稚園に行き、いろいろなお友達ちとのお話や出来事を教えてくれます。

・困っている子に声をかけたり、妹の面倒を見たりし、周りにも目をむけられるようになったと感じます。

・懇談会等、もう少し回数を増やしてほしい。

**【5歳児保護者から】**

・何でも自分でやってみたいということが増えた。

・目標を決めてそれに向かって頑張ることができるようになった。

・お友達や家族、人の役に立つことをしたいという気持ちをもって、行動することが増えた。

・何でもあきらめずに、一生懸命練習したり、努力することができるようになってきた。

・コロナ前にあった行事をもう少し復活してほしい。(園庭開放、卒園記念茶会等)

自自己評価:A~Dで記入してください A大変よい Bよい C普通 Dよくない

令和4年度		氏名	自己評価			
4つの資質・能力		内 容	A	B	C	D
専門的な知識を身に付ける(実践する)						
知識	子供に関する知識	・身に付けた知識を深める		8	3	
		・課題を解決する力を身に付ける	1	5	5	
	園運営に関する知識	・組織の一員として約有を自覚する	2	5	4	
日々の実践を振り返り、こども理解に努める						
実践	こども理解	・年齢に応じた子供の発達を理解し、一人一人に向き合いながら保育を行うことができる	2	6	3	
	保育計画	・教育要領やひかり幼稚園の狙いや内容をふまえ、子供の現状をとらえた上での保育計画を作成し、実践、評価、改善を行うことができる	2	4	5	
	特別支援	・子供の実態や発達の課題に応じて、個別ぼ計画を作成し、支援・援助を行うとともに、若手職員に指導・助言を行うことができる		3	7	1
	連携	(小学校)小学校との円滑な接続、連携の意義を理解し、日常の保育に生かすことができる		2	9	
		(地域)地域との連携、協働した教育活動の必要性について理解する		3	7	1
		(家庭)保護者の気持ちを受け止め、寄り添いながら、家庭に対して支援するとともに、家庭との信頼関係を築くことができる	3	3	5	
	同僚性	組織の一員としての役割を自覚する	3	6	2	
	危機管理	・危機管理の重要性や地震の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応できる	2	7	2	
		・安心・安全な園づくりに他の職員と協働して取り組むことができる	5	5	1	
人材育成	・自己の現状と課題を知り、他の職員の指導や意見に耳を傾け学ぶことができる	4	6	1		
	・若手職員に指導・助言を行う		3	6	2	
研修に参加し、学び、実践する(研修 ⇄ 実践の往還)						
研修		・子供の発達について同僚の指導助言を受けながら理解することができる	4	2	5	
		・積極的に研修に参加し、保育の専門性を高める	1	7	3	
		・園内以外の研修に参加し、多様な意見を知り、知識や技術の幅を広げる	1	4	6	
課題を明確にし、その解決に取り組む						
研究		・子供の興味・関心や集団の実態に沿った、教育・保育を展開する為の教材研究に取り組む	1	5	5	